

令和3年度 [鮮魚品の概況]

鮮魚担当：(株)キョクイチ 取締役常務執行役員 今成英臣

太平洋赤潮の被害が大きく、ウニ・貝類・タコ・鮭等の大量死を含め全体的に今までにない高値となっております。

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (Kg単価)	概況
		入荷量	市況		
本マグロ	地中海・北大西洋・九州	並	高値	k 8,000～6,000～4,000	生鮮・冷凍物共に入荷、市況は高値で推移。 生鮮は国内物が中心で、地中海は減。
鉢マグロ	太平洋・インド洋	減	高値	k 4,000～2,500～2,000	冷凍物は、入荷減。高値。
黄肌マグロ	太平洋・インド洋	減	高値	k 3,000～2,000	冷凍物は、入荷減。高値。
たこ	雄武・枝幸・宗谷	減	高値	足 k 2,000～1,700 頭 k 950～850	入荷量減、昨年より2割～3割高値で推移。
はまち	九州・四国	減	高値	k 2,300～2,100	養殖物は入荷減、単価は昨年より高値。
帆立 (生玉)	野付・標津	減	高値	大 k 5,500～小 4,000	野付中心。相場は高値で継続。
タラバガニ	北海道	激減	高値	k 8,000～7,000	北海道産の入荷は激減、高値で推移。
毛ガニ	北海道 (太平洋)	並	並	k 8,500～6,500	ロシア産の入荷はほぼ無し。近海は昨年並。
うに	(輸入)ロシア・カナダ (地物)道東	減	高値	一折 (100g) 6,000～5,000	ロシア、カナダが中心。水揚げにより価格変動有り。 道東はほぼ無し。
タラ	道東・ラウス・日本海	並	若干安値	k 1,300～700 (フィール)	年末はフィール中心。フィールも大サイズ中心の販売 冷凍ものについては生産減。大サイズ水揚げ増の販売。
キンキ	ラウス・斜里・網走・根室 冷凍 ラウス・ロシア	減	高値	k 8,500～6,500 生 k 6,000～5,000 冷凍	釣物は高値で、刺網物も水揚げは少なく高値。 冷凍物、近海水揚げが少なく、価格高値。
北寄貝	苫小牧・野付・白糠	並	並	k 1,000～600	ここ数年水揚げ不安定、相場変動も多い。大型小、小型中心。
かき貝	厚岸・サロマ	並	並	k 6,000～2,500	入荷量は前年並みで、相場も前年並みで推移の見込み。
タイ	四国・九州	並	高値	養殖 k 1,300～1,100	入荷は安定し、養殖物が中心。昨年より高値。